

LNG船社ランキング

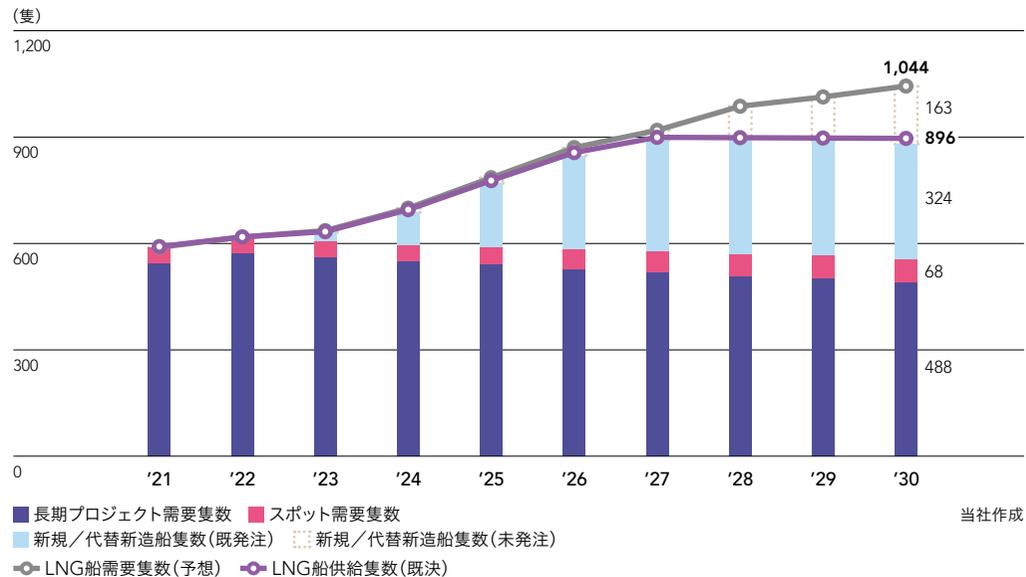
(2023年3月時点)

ランキング	会社名	隻数
1	商船三井	94
2	日本郵船	86
3	Nakilat	69
4	Seapeak	47
5	川崎汽船	44
5	Maran Gas	44
7	MISC	29
8	Gaslog	26
9	飯野海運	25
10	Bergesen Worldwide	23

当社作成

LNG船 船腹需給推移

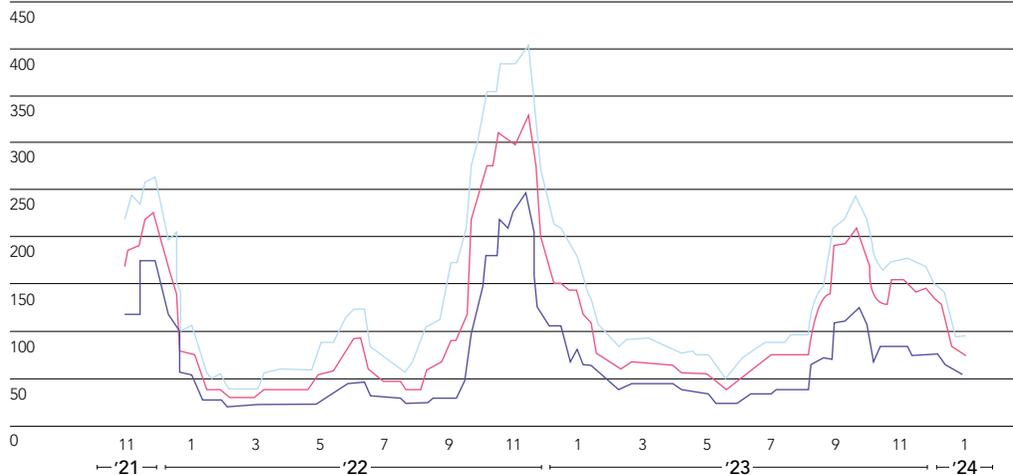
(2023年6月時点)



当社作成

LNG船 傭船料推移

(千ドル/日)

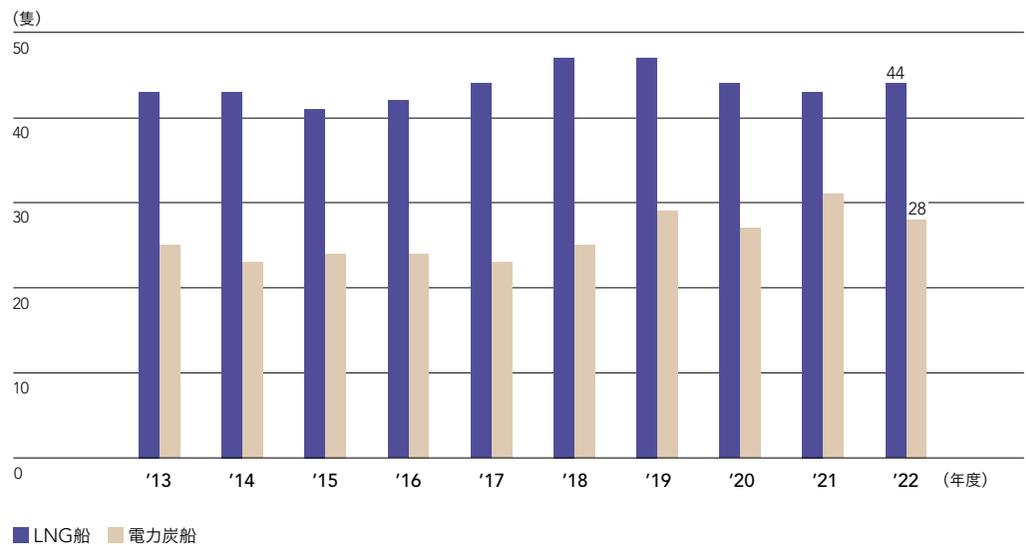


■ 蒸気タービン ■ TFDE(ガス焼き中速エンジン電機推進)*1
 ■ MEGI/XDF(ガス焼き低速エンジン)*2

出典: SSY

*1 ガス、軽油、重油の3種を燃料とする中速4ストロークエンジンにより発電した電気を用いて、モーターにより推進力を得る推進プラント。
 *2 ガス、軽油、重油を燃料とする低速2ストロークエンジンから推進力を得る推進プラント。

当社LNG船・電力炭船隻数推移(共有船含む)



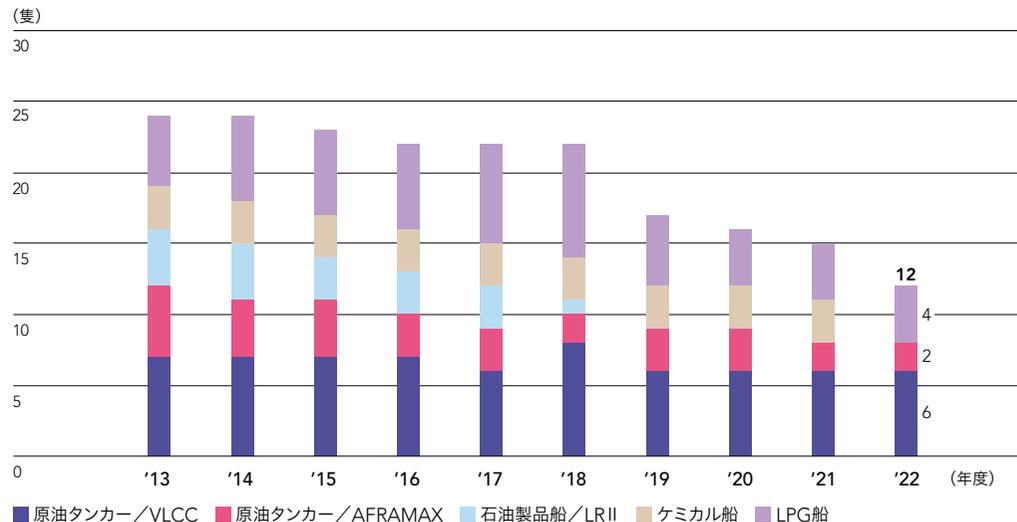
VLCC 船社ランキング

(2024年1月時点)

ランキング	会社名	重量(10万トン)	隻数
1	China Merchants	161.0	52
2	China COSCO Shipping	141.1	46
3	Angelicoussis Group	124.0	39
4	Bahri	118.4	38
5	Nat Iranian Tanker	117.6	38
6	Fredriksen Group	108.5	36
7	Euronav NV	89.5	29
8	DHT Holdings	74.8	24
9	商船三井	70.8	23
10	SK Shipping	68.9	22
30	川崎汽船	18.4	6

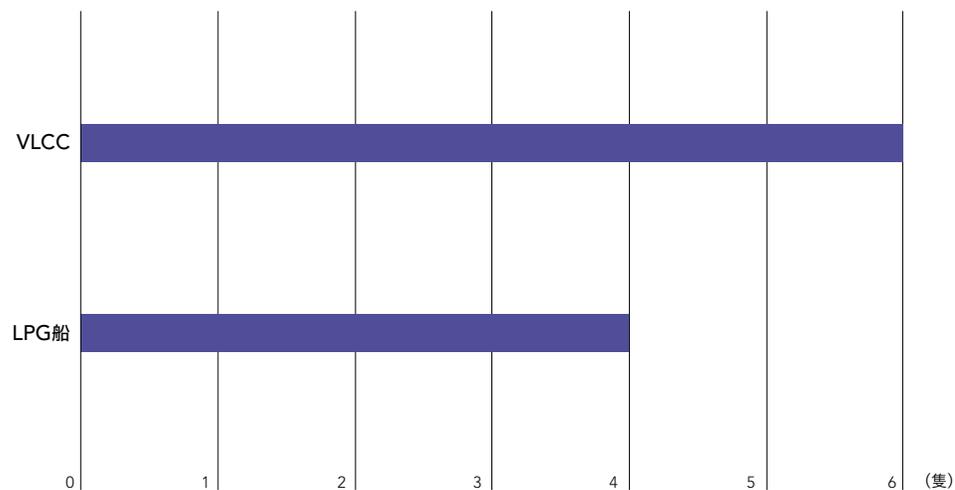
出典：Clarksons

当社油槽船(タンカー) 船種別船隊推移



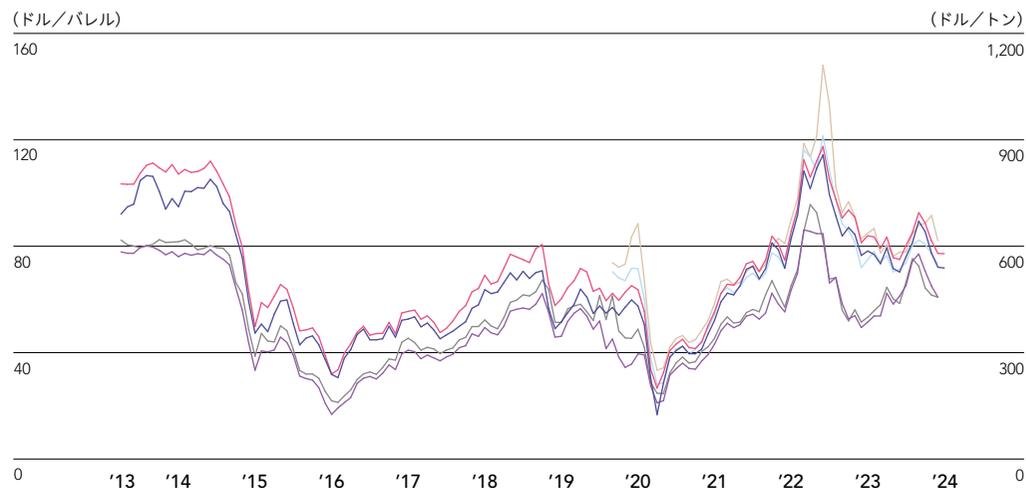
当社油槽船 2023年度船型別中長期契約カバー率見込み

(2023年5月時点)



■ 中長期契約

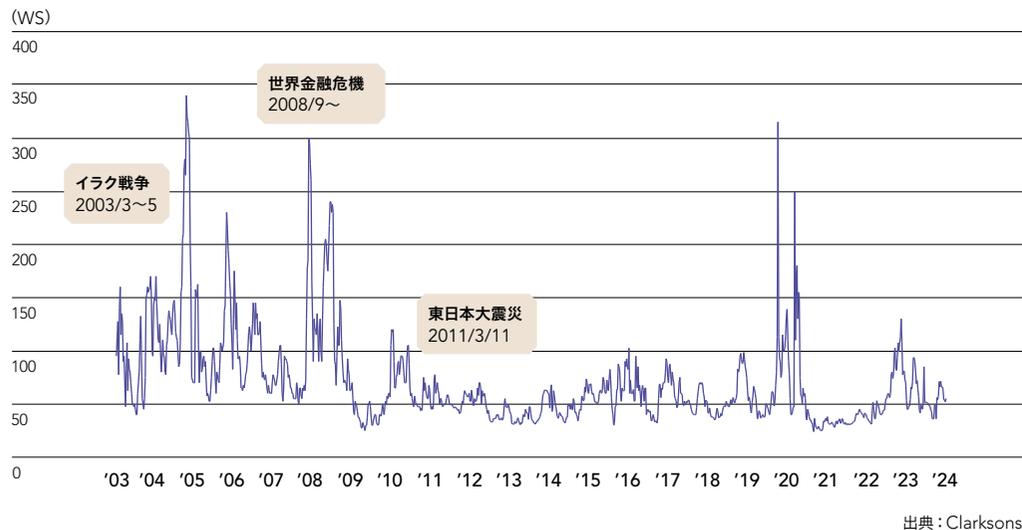
原油・燃料油価格推移



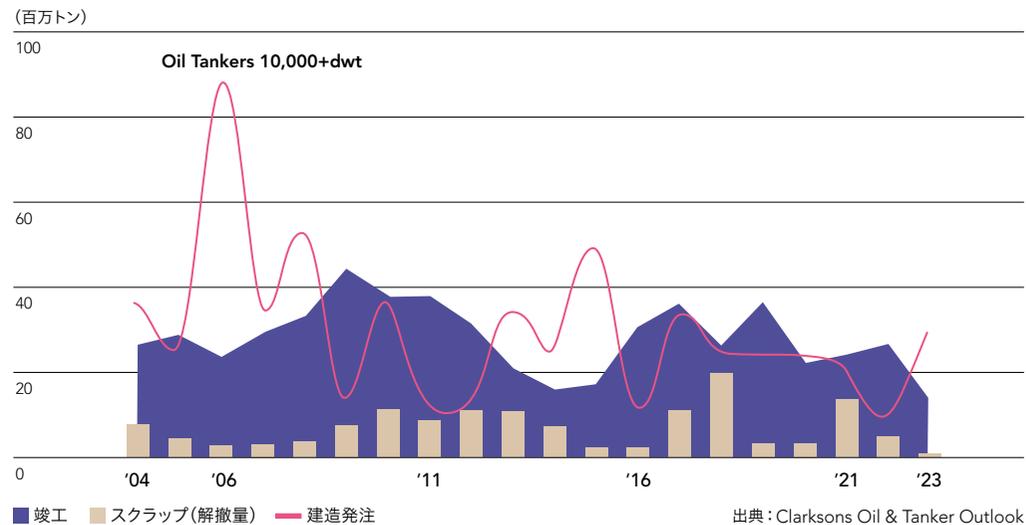
WTI(左軸) Brent(左軸)
 VLSFO Bunker Prices (0.5% Sulphur), Rotterdam(右軸)
 VLSFO Bunker Prices (0.5% Sulphur), Singapore(右軸)
 HSFO 380cst Bunker Prices (3.5% Sulphur), Rotterdam(右軸)
 HSFO 380cst Bunker Prices (3.5% Sulphur), Singapore(右軸)

ClarksonsおよびRefinitivより当社作成

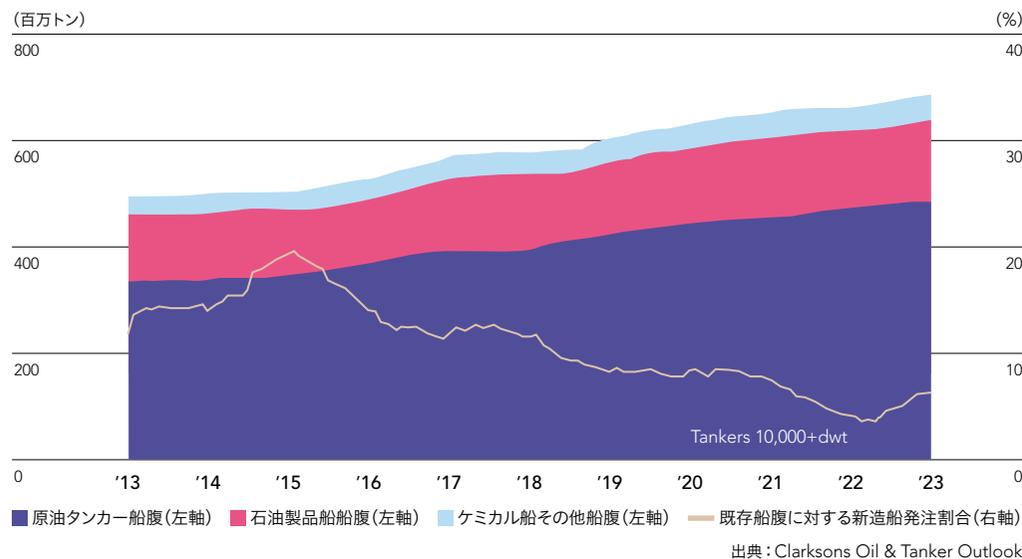
■ タンカー 運賃指数(WS:ワールドスケール)推移



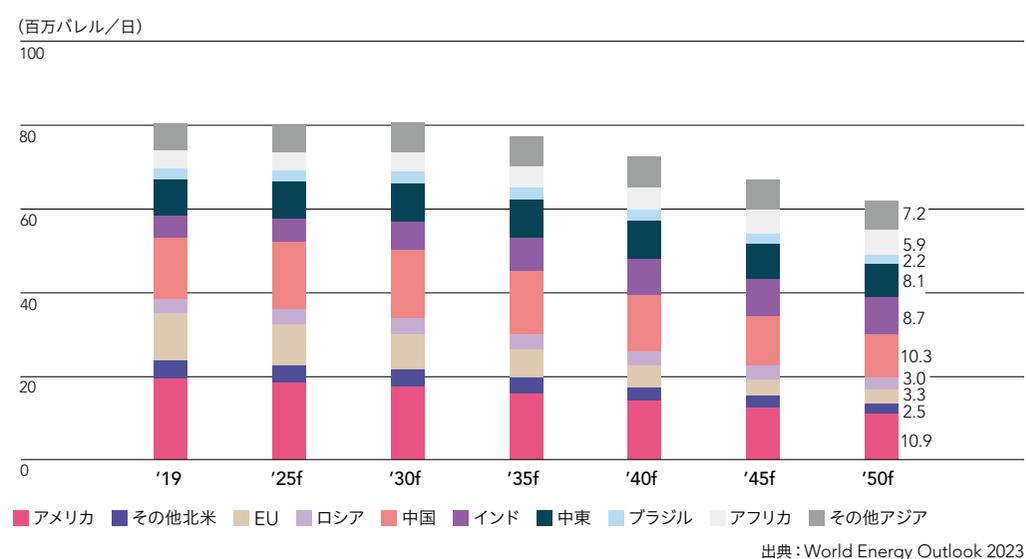
■ タンカー船腹供給量推移



■ タンカー船腹量および新造船発注割合推移



■ 国別石油需要予測



■ ドリルシップ事業 (Mobile Offshore Drilling Unit)

- 2009年に「エテスコプロジェクト」への共同参画を果たし、最先端のドリルシップを共同保有。
- 2012年からPetróleo Brasileiro S.A.への備船を開始。備船期間は20年。現在リオデジネイロ沖200kmのプレソルト層鉱区で掘削作業を実施。
- 水深3,000m、海底下9,000mまでの掘削能力を保持。



ドリルシップ「ETESCO TAKATSUGU J」

■ FPSO事業 (Floating Production Storage and Offloading System)

- 浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備。
- 2017年にガーナ沖油ガス田向けFPSO保有・備船事業参画に関する契約締結。
- Eni Ghana Exploration and Production Ltd向けに2017年より備船中(期間15年間)。
- ガーナ沖南西約60kmのOffshore Cape Three Point(OCTP) 鉱区において原油とLNGを生産中。
- 2020年7月、ブラジル沖Marlim鉱区向けFPSO保有・備船事業への参画を発表。



ガーナ沖で操業中のFPSO「John Agyekum Kufuor」(提供：インソン社)

■ LNG燃料供給事業 (LNG Bunkering Business)

- 2020年10月に、当社、JERA、豊田通商株式会社、日本郵船株式会社と共同で出資する合弁会社を通じて、中部地区における船舶向けのLNG燃料供給事業を開始。
- 2021年3月、LNG燃料供給船「かぐや」が、LNG燃料焚き自動車船「CENTURY HIGHWAY GREEN」に Ship to Ship(船から船への)方式でLNG燃料を供給。
- 2021年2月にFuelNG Pte Ltd*が保有するシンガポール初となるLNG燃料供給船「FUELNG BELLINA」の船舶管理を開始。

* Keppel Offshore & Marine Ltd(Keppel O&M)および Shell Eastern Petroleum(Pte) Ltd が共同で設立した LNG 燃料供給事業会社。



LNG燃料供給船「かぐや」とLNG燃料焚き自動車船「CENTURY HIGHWAY GREEN」(提供：セントラルLNGマリンフェューエル社)



LNG燃料供給船「FUELNG BELLINA」(提供：FuelNG Pte Ltd)

■ カーボンニュートラルへの取り組み

Northern Lights JV DA向け液化CO₂船3隻の長期契約を締結～世界初のフルスケールCCSプロジェクト～

ノルウェーのNorthern Lights社と7,500m³の液化CO₂船2隻*の裸備船契約および定期備船契約を締結しました。新造船は2024年に引き渡され、世界初の本格的なCO₂回収貯留(Carbon dioxide Capture and Storage, CCS)バリューチェーンプロジェクトに従事します。

ロンドンを拠点とする子会社「K」Line LNG Shipping(UK) Ltd.が、本船の船舶管理を実施し、Norcem BrevikやHafslund Oslo Celsio等、複数のCO₂回収施設からノルウェーØygardenにあるNorthern Lights社のCO₂受入基地まで液化CO₂を輸送します。

* 2024年2月に3隻目の液化CO₂船の裸備船契約および定期用船契約を締結しました。



Northern Lights 液化CO₂船 (提供：Northern Lights JV DA)



Northern Lights社のCO₂受入基地 (ノルウェーØygarden, 建設中。提供：Northern Lights JV DA)

マレーシアCCS共同スタディと連携した日本起点の CCSバリューチェーン構築共同検討実施に関する覚書を締結

当社は、石油資源開発株式会社、日揮ホールディングス株式会社ならびにJFEスチール株式会社と、マレーシア国営エネルギー会社Petroliam Nasional Berhad(ペトロナス)と進めているマレーシアにおけるCCSに係る共同スタディと連携した、日本を起点とするCCSバリューチェーン構築を目指す共同検討の実施について合意し、覚書を締結しました。

関西電力株式会社とのCCSバリューチェーン構築に向けた 液化CO₂船舶輸送の共同検討に関する覚書締結

関西電力との間でCCSバリューチェーン構築に向けた液化CO₂船舶輸送の共同検討に関する覚書を締結しました。今後、関西電力が運営する火力発電所から排出されるCO₂を対象に、液化CO₂の海上輸送・貯留に関する最適な輸送スキームやコストについて共同検討を行い、将来のCCSバリューチェーンの構築を目指します。

ケイライン・ウインド・サービス株式会社での洋上風力発電支援船事業

ケイライン・ウインド・サービスは、川崎汽船グループの日本における洋上風力関連の作業船・輸送船に関わるビジネスプラットフォームとして2021年6月に設立されました。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のグリーンイノベーション基金事業に採択された「浮体式洋上風力発電の量産化および低コスト化プロジェクト」では、浮体式洋上風力向けの専用船構想、基礎設計のコンセプト確立などに取り組んでいます。

また、2022年8月には、海洋土工事ならびに洋上風力建設のトップランナーである五洋建設株式会社と、洋上風力建設・保守に関わる船舶のサポート等に関する協業について覚書を締結しました。



オフショア支援船「あかつき」



オフショア支援船「かいこう」